

定期レポート 5月

人間社会科学研究科社会創成専攻 2年 熱田知里

○留学最後のテスト

3月と4月は、プレゼンやテストに追われた2ヶ月間でした。2月に1週間のバカンスがありましたが、4月にもありました。4月は、プレゼン、授業、バカンス、テストと授業関連のイベントが目白押しの1ヶ月となりました。フランスの大学と並行して、島根大学の履修登録や学期初めの手続きなどもあり、留学が始まった頃の慌ただしさを思い出しました。

その中でも特に、学期末のテストが印象に残っています。私が所属する言語学部のテストは基本的に現地の学生と同じ筆記試験を受けます。後期は人文学部の授業も履修しており、この学部のテストは留学生専用の口頭試験かレポートが実施されます。私は、文学部の授業を2つ履修していて、どちらも口頭試験が行われました。口頭試験は、3月末から4月頭にかけて行われました。一般的なテストは4/27から5/13に行われるため、他の学生よりも早めにテスト期間を迎えました。

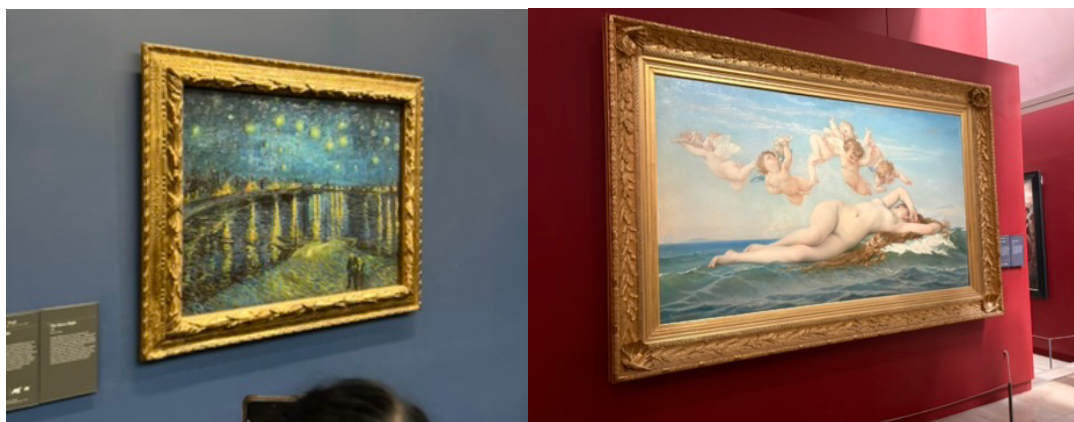
一つ目のテストは、「Histoire de l'art et archéologie antique」という古代ローマやギリシアの美術と歴史を学ぶ授業のもので、思っていた以上に難しく、専門的な知識が問われるテストでした。テストの開始前にお題をくじ引きで決めて、15分くらい回答用紙にメモを作成して、その後先生と一対一でお題に基づいて回答を述べました。目の前で採点されるという緊張感があり、頭が真っ白になって専門用語を忘れてしまいました。

もう一つは、「Cultures numériques」というメディアの授業のテストです。この授業は、授業に追いつくのと内容を理解するのは難しかったです。しかし、事前にお題が知らされており、授業内容をまとめて、関連する文献を読んで自分の意見をまとめ、口頭で先生に発表するというテストでした。私の専門分野ということもあり、念入りに準備をしていました。ノートも持ち込み可能だったため、アートの授業よりはリラックスして挑めました。テスト終了後に、先生からお褒めの言葉をいただき、達成感を得られました。

○休みの日

授業やテストも終わり、留学期間はあと1ヶ月と2週間程度となりました。残りの期間をリヨンで過ごすのもよいですが、他の地域にも行ってみたいと考えています。SNCF（フランスの鉄道会社）のMAX JEUNEという月額79ユーロでTGV（フランスの新幹線）の無料席が予約できるようになるものです（3ヶ月以上の契約が必須になり、途中で解約すると違約金が発生するなどの制約があります）。私は4月、5月、6月にこのプランを利用して、パリやそのほかの主要な都市を巡る予定です。

登録を終え、さっそくパリへ行ってきました。パリの大きな美術館は、学生は無料で入館できるため、費用を抑えてパリを観光できます。



今回はオルセー美術館へ行きました。私が行った日は平日にもかかわらず、人が多かったです。



友人おすすめの Bouillon République に行きました。

パリは高級なレストランばかりあるイメージですが、比較的安めのブラスリーもあります。ワイン 25cl、Bœuf Bourguignon（牛肉のブルゴーニュ風）、デザートにソフトクリームを注文して 20 ユーロくらいでした。フランスのレストランではかなり安い方だと思います。

ブルゴーニュ風の付け合わせはパスタでしたが、友だちがおすすめしてくれたマッシュポテトに変更しました。マッシュポテトは滑らかでバター風味もほのかに感じ、美味しかったです。写真で見るとしっかり量がありますね。フランスに来て食べる量が増えたような気がします。